

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 2	日本語試験

問題

次の文章は、ある日本語文法の研究書のまえがきからの抜粋である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

問い

1 本文中のア、イ、ウの漢字の読みを答えなさい。

ア 可塑的 イ 迂回 ウ 範疇

2 本文中の A, B, C には、それぞれ次のような読み方の言葉が入ります。これらを漢字に直しなさい。

A タソウテキイギ B ユウケイテキ C キョコウテキ

3 本文中の①～③の言葉の意味を説明しなさい。

① いささか ② 恣意性 ③ 無味乾燥

4 3頁の下線部に「アスペクトという文法現象は～表し分ける機能を果す。」とあるが、この「機能」とはどのようなものか。下の例を用いて具体的に説明しなさい。なお、下線部分がアスペクトの形式です。

電話が鳴った。私は本を読んでいた。本を置いて電話に出た。

5 4頁の下線部の「コソアという指示詞が～転換していくように。」という文は、どのようなことを言おうとしているか。具体的に説明しなさい。

6 この文章の筆者は、言語学や文法研究の方法について、どのような考え方を持っているか。200～300字で分かりやすくまとめなさい。

注：次の文章とは、工藤真由美『アスペクト・テンス体系とテキスト』（ひつじ書房、1995年）のまえがきからの抜粋（最初からiv頁29行目まで）である。